

【桜山地区で出た主な資源】



桜山地区 第一回ワークショップレポート

荒尾市では、人口減少が続く中でも、地域の特性を活かした魅力ある地域づくりを行うため、今年度、まちづくりの計画（総合計画）を策定します。計画策定にあたって、住民の皆さんが感じている普段の困りごとを語り合う、ワークショップを開催しました。

第一回は、地区の「困りごと」「自慢」を各グループで出し合い、重要度が高いものを3つずつ選びました。

今後は、話し合った内容を基に、地区の計画としてまとめていく予定です。

【桜山地区】

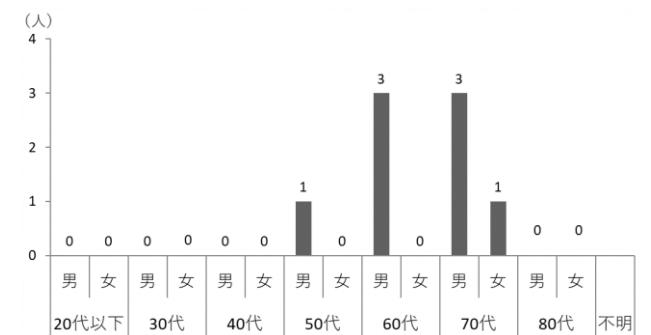
日時：8月19日（月） 18時30分～

場所：桜山中央集会所

参加者数：8名



【桜山地区の参加状況】



【各グループで出たご意見の内容】

桜山地区の困りごと

【自治会】

- ・町内役員が1年毎にくじ引きで交代
- ・町内会費を払えばあとはお任せという人がある
- ・仮に住んでいるだけという意識の人がある
- ・自治活動に否定的になっている(町内会費を払わない人がある)

【コミュニティ】

- ・参加する人の固定化
- ・若い人が参加してくれない
- ・町内会にも行政の支援が必要ではないが(区長手当)コミュニティスクールよりもまず町内会の絆作りが大事
- ・老人会、子ども会の消滅

【その他】

- ・住民同士のトラブルが多い
- ・梨山の後継者が減っている、やめる人が増えている
- ・雑草が多い、草取りをしているのは高齢者
- ・ボランティア精神の低下
- ・子どもが歩いていない
- ・町が全体的に暗い
- ・避難所の桜山小のトイレが少ない
- ・避難所が遠い(1次2次は開かない)
- ・小学校が活用できていない(避難所以外)
- ・学校が非協力的。体育館や運動場を貸してもらえない
- ・交通の便悪い(バスの本数が少ない)
- ・一人暮らしの人が多い(高齢)
- ・住民票が動いていない
- ・駐車のマナーが悪い

桜山地区の自慢

【活動】

- ・美化活動ボランティア
- ・生活支援ボランティアをする人がある
- ・ボランティアによる防犯パトロール
- ・桜山げんきかいによる地域活動
- ・NPO活動をされている

【環境】

- ・災害が少ない
- ・小学校が近い
- ・散歩コースがある
- ・坂が多く自然のトレーニングコースになっている
- ・コウノトリが飛来
- ・区画整理されており、道が整備されている

【桜山地区で重要度が高い、課題と自慢のまとめ】

* 数字は同じ項目を重要と選んだグループの数

【まとめ】桜山地区の課題と自慢

【桜山地区の課題】

1 人手不足・連携不足

- ・地域活動に消極的。地域内で連携ができていない[3]
- ・民生委員・行政協力員などの高齢化(高齢化率35.9%/市内5位)
- ・住まいはあるが、住民票が他地域という住民世帯があり、町内会に入らない

2 リサイクル・ゴミ出し

- ・リサイクル当番、ゴミ出しルールが徹底されていない[2]

その他

- ・空き家による災害が心配
- ・商店がない

【桜山地区の自慢】

1 住民・ボランティアの活躍

- ・町内会長が若い
- ・高齢者が頑張っている(活動に参加)
- ・ボランティアで管理されている綺麗な花壇

2 桜

- ・桜山という地区名が良い
- ・西公園(ぞうさん公園)の桜が綺麗[2]

その他

- ・郵便局・コンビニがある
- ・三段池にホタルがいる